

# 政を問う



久長登良男 議員

## 市有財産管理（山林）は

市長／治山、治水の上からも取り組んでいく



整備されたやまびこ館と駐車場

**久長登良男議員** 複層林と混合林が展示林的に植栽されているが、地域の林業振興にどのように活かしていくのか。  
**池田市長** 市有林の複層林面積は、現在、財部支所管内が2・58ha、末吉支所管内はなく合計4・58ha造成している。

今後の取り組みは、複層林、混合林とも技術的に確立されていない現状であり、山林の状況をみながら、技術的に可能な生産性の面からも有利なのか等検討していく。  
**問** 特用林産（サカキ等）を、市全域を対象にした普及は考えられないか。  
**市長** 20年度からは生産量を増加させるため、苗木生産事業も開始する計画である。神仏用の枝物には需要がある。

当面生産組織が整備されている財部を中心にしながら、市全体の生産体制の強化、普及へと拡大していきたい。  
**問** 市有林を管理する就労者の適正確保は図られているか。  
**市長** 19年度の就労者数は財部3名、末吉2名、大隅2名、合計7名である。16年度と比較すると5名減っている。1、3、29haの市有林の伐採、下刈り、枝打ち、つる切りを主な作業としている。今後森林組合との連携を強化しながら、市有林管理に取り組んでいく。

### 財部駅駐車場の確保について

**問** 駅周辺（旧ミスミプロパン）跡地を含めた整備計画は考えられないか。  
**市長** 財部駅の駐車場は、J・Rが月極駐車場として10台分を整備され、現在は4台の契約である。今回一般駐車場5台を新設するので、駐車場は足りると認識している。旧ミスミプロパン跡地は、財部駅から約200m西側に位置し、一体として整備することは、困難であることから現状では考えていない。



10年来行われているからいも交流

### かごしま地域文化創造事業について

**問** 財部地域を中心とした、からいも交流ボランティアの方々が、10年来、外国の人を対象に年2回歓迎会を開催し交流している。これは対象にならないか。  
**市長** 平成20年度は曾於地区を対象に国と県の補助事業で文化芸術団体の育成が目的で、外国人の歓迎会は対象外と認識している。

### 市立保育園（財部南・北）について

**問** 地域に出向いて会を開催されたようだが、参加者の人数と会議内容はどうだったのか。  
**市長** 今後の保育園運営を検討するために、市民福祉部長以下6名が出席して、保護者や地元住民の意見を聞いた。  
意見としては、南、北保育所とも地域に貢献しているので存続させてほしいと意見があった。  
**問** 公立保育所としての存続の考え方はどうか。  
**市長** 乳幼児数の動向をみながら、2年くらい様子を見たいと思う。



五位塚 剛 議員

### 大型畜舎等建設の 独自条例を

市長／今後検討していきたい



建築中の豚舎

**五位塚剛議員** 現在末吉町内において養豚場、牛舎建設等で地域住民の反対運動がおきている。市として今後、施設の規模拡大の目標値を定めているか。

**池田市長** 規模拡大の目標値は決めていないが、畜産の頭数を減らさないことが大事であると考えている。

**問** 農地の転用について市の基本的な考え方は何か。

**市長** 周囲の農地及び居

住環境に問題が起きないように、糞尿処理など指導していく。

**問** 養豚場や大型畜産施設の建設について、地域住民の同意の求め方の見解を。

**市長** 農地転用については、隣地の同意の必要がなくなっている。しかし申請者の自己責任において問題がある場合、責任をもって対応するようになっている。

しかし事業者においては、関係住民等の建設に

対する了解を求める努力が必要であると考える。

**問** 現在の法律の状況では、同じようなことが畜産施設の建設段階で問題が起きることは予想されるか。

曾於市の畜産振興と住民の暮らしを守る上からも市独自の条例を作り、対応すべきではないか。

**市長** 曾於市環境基本条例の中で対応できないか考えてみる。

**問** 環境基本条例は、施設などの完成後の問題であり、農業委員会へ申請する前の明確な畜産施設建設の条例を作るべきではないか。

**市長** 現在の状況ではいろいろな畜産振興に問題があるので、今後条例ができるかも含めて検討していきたい。

### 市営住宅建設について

**問** 市営住宅の入居希望者は増えているが、現在、待機者は何名いるか。

**市長** 市全体で1,15

4戸あるが、政策空き家73戸を除くと1,081戸あり、入居戸数1,003戸である。待機者は、末吉で44名、大隅で26名、財部で74名である。入居希望する団地が特定されているため、長期間の待機者が多い。

**問** 農村部の市営住宅建設は、希望者の多いところから、積極的に建設を進めるべきではないか。

**市長** 20年度は小中学校の生徒を確保する目的として、人口減少地域を優先し、入居希望者がある地域を選定していく。

### 後期高齢者医療制度は中止すべき

**問** 4月からの後期高齢者医療制度は、75歳以上のお年寄りいじめの制度である。市長の認識は。

**市長** 老人医療制度にかわってできた制度で、当然市も加入すべき制度である。

**問** 市独自の支援策は考えているか。

**市長** 制度そのものへの支援は考えていないが、はり灸、マッサージ、温泉補助については支援していきたい。



柳迫活性化住宅

# 国道・県道の整備促進を強化すべき

市長／より積極的に取り組む



土屋 健一 議員

## 県道末吉・財部線

**土屋健一議員** 本路線の阿邪里地区の工事の進捗状況はどうか。

**池田市長** 合併によりさらに重要幹線道路となった。現在県において700mを着工している。事業費は約6億円で98%の用地は取得済みである。平成21年度の完成予定である。

**問** 国道10号線と蓑原間の整備は要望していくのか。

**市長** 柳迫地区からも要望が出ている。阿邪里地



工事中の阿邪里地区

区の状態をみながら県へ強く要望していく。

## 県道塚脇・財部線

**問** 本路線の上村中野地区の進捗状況はどうか。

**市長** 未改良区間1,200mのうち900mが採択され着工している。事業費は約3億3,400万円で、用地は全部取得済みである。平成22年度完成予定である。残りの区画も早期に着工できるように要望していく。

## 県道大川原・小村線

**問** 本路線の着工見込みはあるのか。

**市長** まだ見込みは立っていないが、粘り強く要望していく。

**問** 大川原交差点信号に予告灯が必要であるが。  
**市長** 必要性は認める。地元からの要望書に市長の意見書を付して、早々に手続きを進める。

## 国道・県道の改良を強力に推進すべき

**問** 国道269号線、県道2号線は宮崎県と比べると改良の遅れが目立つ。要望活動はどのようになっているのか。もっと強化すべきではないか。

**市長** 曾於地区土木協会による要請活動に加えて、機会あるごとに働きかけている。今後も積極的に要望していく。



大川原交差点

## 集落内道路に対する市の対応は（維持補修、排水路、水道管）

**問** 市道認定以外の道路は、受益者や自治会によって維持管理がなされている。高齢化に伴って、労力が低下するが工事を必要とする部分には支援してはどうか。

**市長** 自治会で清掃とやぶ払いを実施して頂き感謝している。現在市の条例では市道以外は工事ができない。必要などころには、原材料支給で対応している。

水道管理設の本管から先は受益者負担である。宅地化が見込まれる場所については、検討する。

# 執行機関と議決機関は 一線を

市長／識見者として協力を



迫 杉雄 議員

## 迫杉雄議員

法令で定められている審議会と、それ以外の協議会や審議会に対して、議員の参画状況はどうであるか。

**池田市長** 市議会議員が構成員である協議会、審議会などは27件であり、お願いしている委員は延



議員が委員となっている審議会

べ68名の協力を頂いている。

内容的に法令や条例に基づくものが18件、告示によるものが4件、その他事業による任意のものが5件となっている。

**問** 議員は審議会等で承認して、各委員会並びに本会議で議決することに

なるが、市長の見識を伺う。

**市長** 協議会や審議会は、市の基本となる考え方や方向性を示さなくてはならない。そのため、協議や審議の内容を判断するには、多くの方々の意見や考え方を聞く必要がある。多様な人選が望まし

いと思っており、議員として、また識見者として協力をお願いしている。

## 社会総がかりの本市の教育再生について

**問** 教育再生に基づいて、教育振興基本計画の策定について、どのような議論がされているのか。今後の取り組みはどうであるか。

**植村教育長** 一昨年の国会において、中央教育審議会が「教育振興基本計画」にどのような内容を盛り込むか、平成19年度中の策定を目指して議論中である。

地方公共団体は国の「教育振興計画」を参考にし、地域の実情に応じた基本計画を策定することになっている。国や県の動向をみながら、本市教育基本計画の策定整備の目途をつけていきたい。**問** 「社会総がかりの本市の教育再生」7つの提言と4つの緊急対応について。

**教育長** 4番目の柱「あらゆる手立てを総動員し、魅力的で尊敬できる先生を育てる」では、がんばっている職員を大隅教育事務所曾於支所と連携して「支所だより」で地区民に紹介することで、一層意欲的に職務に精励するよう支援していきたい。7番目の柱「『社会総がかり』で子どもの教育にあたる」では、家庭の教育力向上を図るため、PTAと連携して家庭教

育学級の充実のための手立てを講じて改善を図っている。**問** 教育指導費（教職員研修費）の内容はどうなっているか。そして本市の教育振興にどのように反映されているか。**教育長** 今日の学校教育をめぐるいろいろな問題やパソコン活用、外国語活動など新しい教育の導入に対応するため、学校内外で教職員の研修に努めさせている。



授業風景

# 敬老祝金の全員支給を

市長／すぐ受け入れる気持ちはない



徳峰 一成 議員

**徳峰一成議員**

全員支給を求める市民の会は、2,700名の第2次署名をはじめ、これまで9,055名分の陳情書を池田市長に提出した。1万人に近い市民の民意をどう受けとめるか。

**池田市長** 比率にしても高い。しかし、これをすぐ受け入れたいという気持ちになっていない。

**問** 今後も署名が1万人、1万1千人と増える中で、市長が節目支給にこだわるなら、市民の世論は池田市政からますます離れるのではないか。

## 書きやすい申告書への改善を

**市長** 志布志市を除いて、他の市町村は節目支給である。

**問** 市のやり方は、市民



改善が求められる申告書

が市民税の申告書は書けないことを前提にしたやり方ではないか。  
**市長** 自主申告が基本であり、改善するよう指示したい。

**問** 市民税の申告者は、3人に2人は60歳以上の高齢者である。ところが申告書が見づらく、記入欄の枠が小さい。

**市長** 来年から改善するよう指示したい。

**問** 内容的にも障害者の記入項目がないなど、見

直しすべき点がいくつかみられる。

**市長** 市民が書けるよう内容の見直しを指示したい。

## 東部畑かん維持管理費と営農見通しの改善を

**問** 総事業費720億円かけた東部畑かん（末吉町の対象農地は1,000ha）が、昨年11月から本格通水した。しかし、曾於市がこれまで246戸からもらっている畑かん加入のための「給水開始申込書」は、内容的に大変不十分であり、多くのトラブルを生じかねない。しっかりした契約書を作り、ゼロからやり直すべきではないか。

**市長** 改めて申込書を作る方向でやりたい。3月の総代会までに指摘された点を含め検討したい。

**問** 今後、畑かんの管理費は、毎年1億から1億5千万円はかかる。赤字分はすべて市の負担とな



スプリンクラーによる散水

る。ところが管理計画は、10年後にすべての農地が畑かんに加入するとしており、計画が大変あまい。  
**市長** 目標に達しなければ見直しをしたい。

**問** 南之郷など曾於市の農地が対象の営農計画では、10年後には白菜の栽培面積は4倍、キャベツは6倍に増える計画になっている。本当に増や

せるのか。また増やしたとして販路は保障できるのか。管理計画を含め、もつと地についた計画策定が必要ではないか。

**市長** 目標値なので高かかかった。若者に期待したい。目標に達しない場合は見直しをしたい。

# 道路の改良を問う

市長／国・県に要望していく



漆間 純明 議員

**漆間純明議員** 国道269号線、東馬場入口信号機から、吹谷線交差点までの約1.2km、幅員2mの通学路・自転車・歩道合体系の改良拡幅についての見解は。

**池田市長** 現地の状況から、自動車・歩道の設置が必要で、改良の必要がある。現在持留坂の歩道



改良中の桜ヶ丘線

整備が行われているので、早急の着手は難しい状況であるが、危険度の高いところであるので、引き続き強く要望をしていく。

**問** 現在、工事中の持留・竹山間の歩道工事と一体化した改良として申請はできないか。

**市長** この工事は、全体計画1,700mで15年度着工、21年度完了予定となっているが、県の厳

しい財政状況を考えると、早期完了は厳しい状況である。今後も鋭意要望していく。また同じ路線同一地区の2工区の実施については、難しいとの回答があった。

**問** 上の信号に向かっての左方の法面は、国・市どちら側か、歩道新設のスペースは充分にあると思うか。

**市長** 調べてみないとわからないが、登坂車線を

考えている。並行して歩道の件も要望をしていく。

**問** 現在改良中の桜ヶ丘線の基本的な考えについては。

**市長** 今回の工事は、旧福祉センターT字路までの850mの整備で、18年度着工、22年度完了の予定である。

**問** 旧大隅町時代、中学校統合に伴う通学路としても、旧福祉センターを横断し、弥五郎伝説の里へ抜ける基幹道路としての構想もあり、認められた経緯もあるか。

**市長** 引継ぎがなく聞いていない。調査してみる。

**問** 弥五郎伝説の里の利用者を中心に要望の多い、入口交差点の今後の考え方は。(例えば信号機、歩道橋等の設置)

**市長** 今後、関係機関に強く要望していく。

**問** 県道垂水・南之郷線の岩川小の上から、新原自治会入口約3.5kmの新設アクセス道路と自歩道の見解は。

**市長** 岩川小の上から、別府自治会までは、両側に歩道が設置され、その以降部分は片側歩道の設置となる。

**問** アクセス道路に関する現況と、今後の進捗状況はどうなっているか。

**市長** 岩川小からバイパス(別府)間の500mは、20年度完了予定。バイパス間の500mは用地等の調査中である。当初計画は、東九州自動車道供用開始に合わせ

る計画だったが、いつ完了とは予測しがたいところである。

**問** 今回の計画にのらないと何年先になるのか、元はももちろん、利用者の長年の悲願の道路開通となるわけだが、用地交渉に向かえる考えは。

**市長** 事情が許せば、計画年度完了を私も願っている。相談に行くこともやぶさかではない。



道の駅おすすみのどかいち農土家市入り口

# 道路行政について

## 市長／計画に基づき進める



原田賢一郎 議員

**原田賢一郎議員** 合併から現在に至るまで、各町の改良された市道の路線数とその延長は。

**池田市長** 末吉管内21路線で、改良済み延長8.1km、改良率58・6%、大隅管内19路線で改良済み延長5.3km、改良率67・5%、財部管内17路線、改良済み延長5.9km、改良率39・2%となっている。

**問** 市道認定にのせられる路線数と道路延長は。

**市長** 末吉、財部管内にはないが、大隅管内に6路線（八合原、弘津田、神牟礼、中園、笠木、新



市道浅井・大路線（大隅町）

坂元）、約45kmの集落道が用地等の条件が整えば可能である。

**問** 市道沿線の樹木等が覆い被さり、交通の妨げになっている箇所は、伐採作業を19年度はどう実施

されたか。

**市長** 平成20年2月末現在で末吉管内11路線約2.5km、大隅管内8路線約6.8kmを実施した。財部管内においては実施しなかった。

**問** 今後の実施計画と見通しは。

**市長** 所有者で伐採困難な箇所については、地元での対応をお願いしたい。高所作業等の危険な作業が予想される場合は市で行う。

## 林業行政について

**問** 曾於市内における民有林のうち、間伐対象林の間伐の進捗状況は。

**市長** 財部管内で2,515haに対し、504haが間伐済み20%、末吉管内2,282haに対し、334ha、14・6%、大隅管内4,171haに対し、466haで11・2%である。

**問** 間伐を促進するため、市独自の助成措置を講ずるべきではないか。

**市長** 間伐を実施した山主に対し、市内居住者10a当たり3,000円、市外居住者に2,000円を補助している。当分はこの方向で実施していく。

**問** 曾於市内におけるシキミ、神サカキ等の植栽面積はいくらか。

**市長** 神サカキ50ha、シキミ14ha、ヒサカキ11ha、計75haである。

**問** サカキ植栽に取り組むことによって、森林が



末吉町祝井谷自治会の仏像

## 文化財指定について

**問** 末吉町祝井谷自治会の仏像は、文化財指定を受けられないか。

適正に管理され、間伐の促進が図られる、高齢者でも生産可能であり、年金との併用で収入が安定する、以上のような点から、財部町をモデルとしたサカキを普及し曾於市全体に普及を図れないか。

**植村教育長** 現在文献等調査中であり、その結果、文化財として価値が高く、指定文化財にすべきとなった場合、市の文化保護審議会に諮問し、教育委員会が審議した後、告示すると指定文化財として効力を発揮することになる。